

2020

ノウフク
アワードNOUFUKU AWARD
2020

優秀賞

Prize for Excellence

社会福祉法人 ころん (福島県泉崎村)

受賞理由 養鶏場を受け継ぐ

耕作放棄地を再生したり、経営の継続が困難となった養鶏場を継承したりしています。直売所の運営にもかかわることで、障害者の通年での就労が実現されています。食の安全にも取り組み、JGAP認証を受けています。



概要 オーガニック野菜・鶏の平飼いにこだわる

多機能型事業所を運営しています。主に精神障害者など利用者30人が養鶏のほか、野菜の栽培・加工、直売所の運営などに携わっています。直売所の運営をきっかけに、地域の農家とつながり、自社での野菜生産から養鶏にまで発展してきました。

2009年から再生させた耕作放棄地を含め3.5畝の農地で、無農薬・無化学肥料のオクラ、キクイモなど50品目の野菜や水稻を栽培しています。高齢のために継続が困難になった養鶏場を引き継ぎ、平飼いで約1,000羽のニワトリを飼育しています。



成果 大型スーパーにも出荷する

＜農林水産業＞

- ・2017年に青果物(玉ねぎ・キクイモ・さやえんどう)で、19年に畜産(養鶏)でJGAPを取得しました。
- ・地元スーパー4店舗の地場産コーナーに加え、福島の県南・県中にある大型スーパーへ販路を拡大しています。

＜障害者等＞

- ・農業を通して体力や忍耐力が付き、欠勤や服薬が減ったり、一般就労につながったりする事例があります。

- ・安定的に働けるので、収入が増え、家族との関係が良くなっています。

＜地域＞

- ・直売所は地場野菜などの販売だけでなく、利用者の働く場や地域住民の憩いの場として機能しています。
- ・地域イベントへの参加で、ネットワークがより強固に。
- ・障害者が一生懸命働く姿を見る機会が増えて、偏見や差別的な態度がほとんどなくなっています。

ノウフク